

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社 ひらまつ
 コード番号 2764 URL <http://www.hiramatsu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 陣内 孝也
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 服部 亮人

TEL 03-5793-8818

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,465	△6.0	314	△65.2	330	△63.7	△159	△125.7
2018年3月期第2四半期	5,816	4.7	904	2.3	909	0.6	620	73.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △137百万円 (△122.5%) 2018年3月期第2四半期 614百万円 (79.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△3.64	—
2018年3月期第2四半期	15.97	—

(注) 2018年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2019年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
2019年3月期第2四半期	20,996		9,423		44.5	
2018年3月期	22,875		10,666		46.5	

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 9,353百万円 2018年3月期 10,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	3.00	10.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,914	△6.3	545	△64.1	557	△63.4	10	△99.1	0.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	48,604,200 株	2018年3月期	48,604,200 株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	5,430,239 株	2018年3月期	3,589,639 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	43,763,576 株	2018年3月期2Q	38,859,370 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高5,465百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益314百万円（同65.2%減）、経常利益330百万円（同63.7%減）となりました。なお、定期建物賃貸借契約満了に伴う店舗閉鎖損失417百万円を特別損失として計上したこと、繰延税金資産の取崩などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失159百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益620百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間は、婚礼市場の変化・縮小などの影響に加えて、地震、台風、豪雨、記録的な酷暑等の自然災害の影響から客足が鈍り、さらには、外食、サービス業界を取り巻く社会環境の変化に伴う人材不足の顕在化、社会的課題である「働き方改革」に鑑みた定休日の導入等からレストラン事業の売上が前年同期を下回ったことにより減収となりました。なお、ホテル事業においては、2016年に開業した3ホテルの売上は概ね安定的に推移しており、2018年7月14日に開業した「THE HIRAMATSU HOTELS & RESORTS 宜野座」は、開業月ならびに翌月の稼働率は80%を超え、宿泊されたお客様から高い評価を得て順調な滑り出しを見せております。

利益面においては、天候不順に伴う原材料費の高騰、ホテル事業推進に伴う設備投資と人材強化による人件費の増加、広告宣伝費などの新規出店コストの増加などにより、費用が当初予想を上回りました。また、レストラン開業以降、周辺立地、近隣テナント等店舗を取り巻く外部環境が著しく変化した2つの店舗（「アイコニック」（東京都中央区）、「ブラッスリー ポール・ボキューズ ラ・メゾン」（愛知県名古屋市））について運営継続の可否を検討した結果、適切な運営環境ではないとの結論に至り、定期建物賃貸借契約の満了を機に当該2店舗の閉鎖（「アイコニック」最終営業日2018年12月31日、「ブラッスリー ポール・ボキューズ ラ・メゾン」同2019年1月14日）を2018年11月9日開催の取締役会で決定し、店舗閉鎖損失417百万円を特別損失として計上しました。これらの結果、前年同期に比べ、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,878百万円減少し、20,996百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3,006百万円減少した一方、有形固定資産が1,226百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ635百万円減少し、11,572百万円となりました。これは主に、有利子負債が851百万円減少した一方、資産除去債務が112百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ1,243百万円減少し、9,423百万円となりました。これは主に、利益剰余金が294百万円減少したこと、および、自己株式が999百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,006百万円減少し、6,402百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は384百万円（前年同期は1,468百万円の収入）となりました。これは、主に非支出費用項目である店舗閉鎖損失が417百万円（同実績なし）、減価償却費346百万円（同250百万円）となった一方、法人税等の支払額が204百万円（同94百万円）となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は1,403百万円（前年同期は437百万円の支出）となりました。これは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が1,377百万円（同1,276百万円）となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は1,987百万円（前年同期は3,716百万円の収入）となりました。これは、主に長期借入れによる収入が1,000百万円（同実績なし）となった一方、有利子負債の返済による支出が1,851百万円（同1,822百万円）、自己株式の取得による支出が999百万円（同実績なし）となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別損失の計上および2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当無配）の決定と期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,408,642	6,402,143
売掛金	519,272	513,186
原材料及び貯蔵品	1,461,987	1,409,702
その他	328,412	353,236
貸倒引当金	△558	△559
流動資産合計	11,717,757	8,677,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,130,085	7,679,648
土地	875,287	909,310
その他（純額）	2,155,495	1,798,338
有形固定資産合計	9,160,867	10,387,297
無形固定資産		
投資その他の資産	36,768	35,699
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,572,648	1,460,939
その他	408,565	456,229
貸倒引当金	△21,500	△21,500
投資その他の資産合計	1,959,714	1,895,669
固定資産合計	11,157,351	12,318,666
資産合計	22,875,108	20,996,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	582,082	556,989
1年内返済予定の長期借入金	3,518,058	3,825,589
未払法人税等	279,000	152,000
その他	1,159,740	1,614,072
流動負債合計	5,538,880	6,148,650
固定負債		
長期借入金	6,225,363	5,066,492
資産除去債務	293,913	344,928
その他	149,986	12,806
固定負債合計	6,669,263	5,424,226
負債合計	12,208,143	11,572,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,213,540	1,213,540
資本剰余金	2,408,920	2,408,920
利益剰余金	8,711,828	8,417,303
自己株式	△1,791,161	△2,791,128
株主資本合計	10,543,128	9,248,636
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	83,354	104,894
その他の包括利益累計額合計	83,354	104,894
新株予約権	40,482	69,968
純資産合計	10,666,965	9,423,499
負債純資産合計	22,875,108	20,996,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	5,816,068	5,465,074
売上原価	2,278,723	2,320,542
売上総利益	3,537,344	3,144,532
販売費及び一般管理費	2,632,543	2,829,594
営業利益	904,801	314,937
営業外収益		
協賛金収入	13,135	12,829
業務委託料収入	4,864	8,314
その他	10,876	8,259
営業外収益合計	28,876	29,403
営業外費用		
支払利息	18,009	12,955
為替差損	3,103	220
その他	3,416	1,140
営業外費用合計	24,530	14,315
経常利益	909,147	330,025
特別利益		
固定資産売却益	6,419	-
特別利益合計	6,419	-
特別損失		
店舗閉鎖損失	-	417,566
特別損失合計	-	417,566
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	915,567	△87,541
法人税、住民税及び事業税	300,136	118,352
法人税等調整額	△5,275	△46,412
法人税等合計	294,861	71,940
四半期純利益又は四半期純損失(△)	620,706	△159,481
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	620,706	△159,481

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	620,706	△159,481
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,467	21,540
その他の包括利益合計	△6,467	21,540
四半期包括利益	614,238	△137,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614,238	△137,941
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	915,567	△87,541
減価償却費	250,080	346,761
店舗閉鎖損失	-	417,566
貸倒引当金の増減額(△は減少)	51	△18
支払利息	18,009	12,955
株式報酬費用	19,923	29,486
固定資産売却損益(△は益)	△6,419	-
売上債権の増減額(△は増加)	5,258	871
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,902	50,337
仕入債務の増減額(△は減少)	161,751	△23,694
未払金の増減額(△は減少)	27,921	△81,704
未払費用の増減額(△は減少)	3,128	15,890
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△15,920	△40,488
未払消費税等の増減額(△は減少)	98,131	△153,092
前受金の増減額(△は減少)	88,819	52,486
その他	△19,529	63,638
小計	1,578,676	603,455
利息及び配当金の受取額	39	39
利息の支払額	△15,634	△13,747
法人税等の支払額	△94,295	△204,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,468,786	384,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,276,778	△1,377,525
有形及び無形固定資産の売却による収入	864,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△25,871	△26,039
敷金及び保証金の回収による収入	1,221	57,324
預り敷金及び保証金の返還による支出	-	△57,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△437,428	△1,403,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,816,095	△1,851,340
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,867	-
自己株式の売却による収入	5,924,800	-
自己株式の取得による支出	-	△999,967
配当金の支払額	△385,394	△136,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,716,442	△1,987,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	△654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,747,999	△3,006,498
現金及び現金同等物の期首残高	7,245,154	9,408,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,993,154	6,402,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,840,600株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が999,967千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,791,128千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。